



わたしはパリオウ、まじよまじよよ！
最近、「パリオウ」って
すっかりはまっちゃってるの。
お金持ちのひとたちの
まねをするんだけど、
みてみて！
ほら、ワインの似合う貴婦人、
って感じ、うなづ。

「このワインにぴったりのチーズを
もってきちゃってくださいって言うって、
執事のかっこうをしたへびさんが、
ひとくちチーズを
はこんできてくれるのよ！
まあ、ワインって言うっているのは、
ただのぶどうジュースなんだけど。」

でもね、セレブごっこを
始めるようになってから、
嫌いだったチーズをおいしく食べるのが
できるようになったのよ！
おおばーばも、
「チーズは体にいいですからね、
わたしの遊びを
大目に見てくれるの笑。
へびさんがもってくるチーズは
おおばーばの家の
冷蔵庫のやつだけ、
まだばれてはいないみたいね。」

そんなわたしに、
「チーズの魅力をよひらいてほしい
教えてあげよう」と、
今回はストレートに
おおばーばはわたしを誘ってくれたの。
やってきたのは、セルビアという国。
ヨーロッパのバルカン半島という
ところにある小さな国よ。
ばーばにいろいろ言われる前に、
ガイドブックで調べてみたら、
ここセルビアは
チーズ大国なんですって！

いろんなチーズが
食べられそうね、って
おおばーばに言おうとしたんだけど、
ばーばにしてはめずらしい、
目を細めてよだれを垂らしてわ。
わたし、なんとなく思ったんだけど、
ばーばはもしかして
自分自身におめあてがあつて、
わたしを都合よくだして、
ここにきたんじゃないかしら、
そんなことを思っ

そんなことを思っ
「パリオウちゃん、
あのチーズはなにかしら」なんて
おおばーばが言うてるの。
しらじらしいったらありゃしない。
これは、絶対に確信犯よね。

そんなことを思っ
「パリオウちゃん、
あのチーズはなにかしら」なんて
おおばーばが言うてるの。
しらじらしいったらありゃしない。
これは、絶対に確信犯よね。



★ ★ ★ ★ ★
Q おおばーばの問題

重さが4(g)、5(g)、6(g)、7(g)、8(g)の
ひとくちチーズが1つずつあります。
このうちの1つをナイフで切って、
6つのチーズにして、3つのお皿に2つずつ、
同じ重さずつになるように分けたいのですが、
何通りの方法があるでしょうか。

A 問題の解答

チーズの重さの合計は、ナイフで切る前と後とで変わらず、もともとチーズの重さの合計は4+5+6+7+8=30(g)なので、
3つのお皿に2つずつ、同じ重さずつになるように分けるとき、1つ1つのお皿には30÷3=10(g)ずつのチーズがのることになります。
また、ナイフで切り分けたチーズは、2つの皿までしかのせることはできないので、あるお皿にはナイフで切り分けられたチーズはのっていません。
4(g)、5(g)、6(g)、7(g)、8(g)のうちの2つの重さの合計が10(g)となるのは、4(g)と6(g)の2つだけなので、
切るチーズは5(g)、7(g)、8(g)のチーズのどれかで、4(g)と6(g)のチーズは同じお皿にのって、
・5(g)のチーズを切り分けるとき: 3(g)、2(g)に切り分けて、それぞれを7(g)、8(g)のチーズと同じお皿にのせる〔4(g)、6(g)〕、〔3(g)、7(g)〕、〔2(g)、8(g)〕
・7(g)のチーズを切り分けるとき: 5(g)、2(g)に切り分けて、それぞれを5(g)、8(g)のチーズと同じお皿にのせる〔4(g)、6(g)〕、〔5(g)、5(g)〕、〔2(g)、8(g)〕
・8(g)のチーズを切り分けるとき: 5(g)、3(g)に切り分けて、それぞれを5(g)、7(g)のチーズと同じお皿にのせる〔4(g)、6(g)〕、〔5(g)、5(g)〕、〔3(g)、7(g)〕
とするしかないので、分けかたは全部で3通りあるとわかります。

そんなことを言うばーばなんて大きい！
へそを曲げてると、
ばーばは「代わりに」って
いくつかのひとくちチーズをわたしにくれたわ。
そのチーズを見ながら、
やっぱりばーばは
ウトウトし始めちゃった。
ばーばの算数の魔法が発動したのね！

ばーばが指さしたチーズは、
とってもめずらしい、
ロハのミルクで作られた
チーズなんですって。
「ロハのチーズ、なんて、
何年も生きてきて
はじめて見ましたわ」
などとばーばが言うものだから、
はいはい、じゃあいただきますしよ、って
言ったんだけど、ばーばいわく、
ロハのチーズはとっても高価で、
ほんもののセレブじゃないわたしには
食べる権利がないんですって。
まったく、失礼しちゃうわね。

じんぶつしょうかい
人物紹介

未熟な魔女「まじよまじよ」を卒業するために日々奮闘中の、どこかおちょこよいな魔女。目の前のものをかわいいへびに変えるのが特技。

パリオウちゃん

手厳しさもあればおおらかでやさしいところもある。なぜパリオウちゃんと気の合う「偉い魔女」。保護者役も兼ねる。

おおばーば
(本名はセッコ)